



東北大学



2013年4月15日  
東北大学大学院医学系研究科

## HIV 感染治療薬「スタリビルド配合錠」の国内承認

東北大学大学院医学系研究科宮城地域医療支援寄附講座 児玉栄一講師（東北メディカル・メガバンク機構 ToMMo クリニカル・フェロー、総合感染症科を兼務）が京都大学在籍中に日本たばこ産業株式会社（JT）と共同研究した抗エイズ薬（エルビテグラビル：HIV インテグラーゼ阻害剤）を含む配合錠スタリビルドが、昨年8月のアメリカ食品医薬品局の承認（Gilead Sciences 社が新薬承認申請）に続き、日本でも製造販売承認を取得し、薬価収載後に鳥居薬品株式会社から販売されることになりました。

### 【研究内容】

後天性免疫不全ウイルス（HIV）は、免疫に重要なリンパ球に感染し、これを破壊するために、本来なら自分の力で抑えることのできる感染症を抑えられなくなります。近年、複数の抗 HIV 薬を用いることによって、免疫力の回復だけでなく、感染拡大も阻止できるようになりました。しかし、薬剤耐性 HIV の出現や服薬しなければならぬ錠数の増加が問題でした。

児玉講師と JT が共同研究したエルビテグラビルは、他のクラスの抗 HIV 薬に対して高い耐性を獲得した HIV 変異株であっても極めて強力な抗 HIV 活性を示します。Gilead 社は、エルビテグラビルと、同社が開発したエルビテグラビルの血中濃度を上昇させる働きを持つコピシスタット及びこれまで同社が販売してきた核酸系逆転写酵素阻害剤 2 剤（エムトリシタビン/テノホビル ジソプロキシマル酸塩）の 4 剤を配合錠とし、1日1回1錠の服用でこれまでの抗レトロウイルス療法と同等以上の効果を示す薬剤にしました。

本研究は、厚生労働省科学研究費補助金事業及び、JT 奨学寄付金によって一部サポートされています。  
関連URL：[http://www.jti.co.jp/investors/press\\_releases/2013/pdf/20130325\\_01.pdf](http://www.jti.co.jp/investors/press_releases/2013/pdf/20130325_01.pdf)

### （問い合わせ先）

東北大学大学院医学系研究科 宮城地域医療支援寄附講座

講師 児玉 栄一（こだま えいいち）

電話番号 : 022-717-7199

Eメール : kodama515@med.tohoku.ac.jp

### （報道担当）

東北大学大学院医学系研究科・医学部広報室

長神 風二（ながみ ふうじ）

電話番号 : 022-717-7908

ファックス : 022-717-8187

Eメール : f-nagami@med.tohoku.ac.jp